

# Bill One

powered by Sansan

## 導入事例



| 掲載企業 |

**dip**  
Labor force solution company

ディップ株式会社

**a** アサヒファシリティズ

株式会社アサヒファシリティズ

**UNION**  
ARTWARE

株式会社ユニオン

**meiji**

株式会社明治

**sansan**

# dip

Labor force solution company

ディップ株式会社

業種 | 人材サービス

従業員数 | 2356名 (2022年4月1日時点)

設立 | 1997年

毎月の請求書処理枚数 | 約1000枚

BillOne  
powered by Sansan

求人情報サイト「バイトル」「はたらこねっと」や、定型業務の自動化を行う「コボット」などのDXサービスを提供するディップ株式会社。自社開発のRPAとBill Oneを連携させることで請求書に関連した業務に大きな変化をもたらしました。

## RPAとの連携によるアナログ作業の自動化で 人的・時間的リソースの最適化を実現



お話を伺った方 | 経営統括本部経理財務部購買課課長 野村沙織様 | 経営統括本部経理財務部購買課リーダー 伊藤克実様

### 導入の効果

請求書情報と検取データの突合のためのアナログ作業

約 **7** 割減

請求書が購買課に届いてから処理にかかる時間

数日 → **短縮**

毎月の月次決算の購買課の残業時間

2.5時間/日 → **ほぼ0**に

## 導入前の課題

- 請求書情報と検取データの突合作業がアナログで時間がかかっていた
- 請求書枚数が増加すればリソースが不足する可能性があった
- 戦略的購買のための業務にリソースを割くことが難しかった

### “ 自社開発のRPAとの連携で、アナログ作業を自動化。 毎月発生していた残業がほぼゼロになりました ”

**伊藤様：**ディップでは紙の請求書から電子請求書への切り替えを推進し、2020年の春には受領する請求書の9割が電子となっていました。しかし、請求書自体がPDF化されていても、請求書の中の情報を購買システム内の検取データと突合する業務は目視で行う必要があり、アナログな作業が残っていることを非効率に感じていました。

**野村様：**PDFの請求書をダウンロードして所定のフォルダに格納し、ファイルを開いて内容を確認するという一連の作業は、一つひとつの作業にかかる時間は1分ほどと短時間ですが、約1000件となると十数時間にもなります。突合作業のた

めに残業が発生することもありました。また、事業拡大に伴い請求書枚数が増加傾向にある中、アナログ作業を必須とする状態を続けていることでリソースが不足する危機感もありました。これらの課題を解決するためにBill Oneを導入しました。

**伊藤様：**突合作業を自動化するため、Bill Oneと自社開発のRPAを連携させて動かしています。そのためにはBill Oneのデータ化のスピードと精度の高さが不可欠でした。現在は4つのRPAを組み合わせて完全に自動化することができています。以前は月次決算の締め日前の数日は毎日2.5時間ほどの残業が必須でしたが、Bill One導入後はほぼ不要になりました。

### “ 戦略的購買の業務に時間を使えるようになり、 検索性の向上やステータス管理の実現といった効果もありました ”

**伊藤様：**Bill One導入当初は800枚だった請求書枚数は少しずつ増え、1000枚を超えることもありますが、リソースを追加することなく対応が可能になりました。

**野村様：**とはいえ、突合作業の自動化は、第1段階にすぎないと考えています。その先には、「戦略的な購買業務を行えるようになりたい」という目標を持っています。購買課の業務は発注業務や購買の確認・承認だけではありません。適正な価格で購買できているかの調査や戦略立案も、会社の成長のために大切な業務です。突合作業の自動化で生まれた時間を、そうした業務に使えるようになってきています。

**伊藤様：**Bill One導入によってデータ化された請求書情報の全てをオンラインで管理できるようになったことも大きなメリットです。しばしば過去の請求書情報を検索したり、今月の請求書の処理枚数を調べて分析に使ったりすることがありますが、以前はPDFが格納されているフォルダにアクセスして検索をかける必要がありました。Bill Oneならひとつの画面上で検索可能なので、利便性が高いです。

**野村様：**「どの請求書がどんな状況にあるのか」というステータス管理がしやすくなったのはうれしい効果でした。Bill Oneをデータベースのように使い、さらに活用していきたいです。

## アサヒファシリティズ

### 株式会社アサヒファシリティズ

業種 | 不動産

従業員数 | 1697名 (2022年4月1日時点)

設立 | 1969年

毎月の請求書処理枚数 | 約1万5000枚

竹中工務店グループの一員として建物管理事業や保険代理事業を担う株式会社アサヒファシリティズ。紙の請求書を複数の拠点間で郵送するなど、時間とコストがかかっていた請求書処理フローを改革し、新たな業務フローを構築しました。

## 拠点間での請求書の郵送や、振り分け・検算作業にかけていた時間を短縮。迅速かつ効率的な請求書処理が可能に



お話を伺った方 | (左上から時計回りに) 本社業務管理本部長 岡田範夫様 | 東京本店技術部副部長 伊藤宏和様  
| 東京本店技術部工務課 岡南菜実様 | 東京本店総務部経理課長 高橋和志様

### 導入の効果

各拠点で受領した請求書を  
工務課が確認するまでにかかる時間

約1週間 → **数分**

請求書の仕分けと  
検算にかかる時間

約20時間 → **約1時間**

押印による承認や  
確認のための出社対応

**0**に



## 導入前の課題

- 全国27拠点から各本支店への請求書の郵送に、コストと時間がかかっていた
- 請求書の仕分けと検算作業に時間がかかり経理部門の残業が発生していた
- 紙の請求書が多いためにステータス管理がしづらく、処理のための出社も必要だった

### “各拠点で受領した請求書が届くまでの時間が短縮され、 迅速に処理が始められるようになりました”

伊藤様：アサヒファシリティズの支店や事業所は全国にあり、各事業所単位で請求書を受領しています。以前は紙の請求書と電子請求書の割合がおおむね9:1で、電子請求書も書面に出力して紙での一元管理を行っていました。約100か所の事業所から全国27拠点の管理センターへ郵送して承認を行った後、さらに管理センターを管轄する本社・本店・支店へと郵送していたのですが、数日から1週間ほどの時間がかかっていたことが課題でした。

岡様：管理センターから郵送された請求書を各本支店の工務課が受け取り、支払情報を経理課に引き継ぐための請求書の

内容確認と承認を行っています。以前は工務課に届くまでに1週間ほど必要でしたが、ものによっては数分でBill One上で確認でき、迅速なスタートが可能になりました。

岡田様：時間がかかっていたことの他にも、紙の請求書を処理していた頃は、各事業所に届く請求書の確認や上長承認に押印が求められるために出社を余儀なくされるケースがありました。また紛失や処理もれが発生するリスクがある上に、請求書を保管するために倉庫を借りる必要もありました。Bill One導入後は押印のために出社する必要はなくなり、保管場所の確保も不要になりました。

### “延べ20時間もかかっていた作業が約1時間で終わり、 毎月発生していた残業の必要がなくなりました”

高橋様：東京本店では毎月4000枚ほどの請求書を処理しています。以前は全てが紙の請求書で、取引先ごとに並べ替える作業や、基幹管理システム上で生成された支払いデータと請求書原本を目視で突合する作業が発生していました。3名で延べ20時間ほどの時間を割いていたのです。Bill Oneの導入によりこれが1時間ほどに短縮され、毎月必須だった残業がなくなりました。東京本店だけでこの効果が出ています。全国の本社・本店・支店では、毎月約1万5000枚の請求書を処理していますので、さらに大きな効果になっているはずです。

岡様：Bill Oneではステータスの確認がオンラインのできるため、工務課に届く前にどの請求書がどんな状況にあるのか

がすぐに分かり、各担当者への問い合わせなどのコミュニケーションがスムーズになりました。テレワークも可能になり、出社日に作業負担が集中することもなくなりました。

高橋様：2022年4月には2カ所の「広域事務センター」を立ち上げ、各本支店の経理課が行っている出納業務を集約させようとしています。Bill One導入によって業務フローをデジタル化していなければ、まず考えられなかったことです。出納業務から解放されて創出した時間を、業務管理の精度向上などのより付加価値の高い経理業務に使い、会社の成長に貢献できることを期待しています。

# UNION

ARTWARE

## 株式会社ユニオン

業種 | 製造・メーカー 従業員数 | 130名 (2022年4月1日時点)  
 設立 | 1958年 毎月の請求書処理枚数 | 約200～300枚

**BillOne**  
 powered by Sanson

ドアハンドルやレバーハンドルをはじめとする建物金具を製造する株式会社ユニオン。電帳法の改正を見据えて請求書の電子化や業務フローの効率化などの改革にいち早く取り組み、法改正に対応可能な業務体制を構築しました。

## 紙の請求書の処理におけるミスや非効率な業務を削減。 電帳法の改正にも対応可能な体制を構築



お話を伺った方 | 管理部管理課 梅田有紀様 | 管理部 兼 情報システム室室長 若林慎吾様

### 導入の効果



電帳法への対応が  
 可能な体制を構築



紙の請求書のファイリング作業に  
 かかる工数を大幅削減



請求書の処理フローを  
 オンラインで一元化

## 導入前の課題

- 電帳法改正に対応した社内フローを整備する必要があった
- 紙の請求書が多く、提出もれや二重払い、保管業務の工数も発生していた
- 受領・提出・承認フローなどが非効率で出社する必要もあった

### “電帳法の改正を見据えて進めた請求書のオンライン受領。 提出もれや二重払いなどのリスクを減らすことができました”

**若林様：**ユニオンの請求書処理フローにおいて課題だったのは、取り扱う請求書のうちほとんどが紙の請求書であるために非効率な作業が多く発生していたことでした。2022年1月に電子帳簿保存法（電帳法）の改正が施行されることが後押しとなり、紙での請求書管理から電子での管理へ移行することを決断しました。請求書をオンラインで受領して業務フローを効率化するため、Bill Oneの導入に至りました。

**梅田様：**以前は、紙で届いた請求書を社内の規定フォーマットである支払い依頼書に落とし込んでから提出するため、工数がかかっていました。手書きで記入して承認の押印をもら

い、ボックスに提出するというのが一連の流れだったのですが、支払い依頼書を作ったものの提出を忘れてしまったり、上長が不在がちなためになかなか押印してもらえずに時間が過ぎてしまったりと、処理もれも多く発生していました。

**若林様：**二重支払いのリスクもありました。メールで受領していた一部の電子請求書は紙に出力して処理していたのですが、処理済みであることを忘れてもう一度出力して同じ作業を行い、二重に支払ってしまうことがあったのです。Bill One導入によってオンラインでステータス管理ができるようになり、そうしたリスクは減りました。

### “保管業務にかかる工数を8割削減。 請求書の処理フロー全体を効率化できました”

**梅田様：**Bill One 導入の恩恵を最も感じているのは、請求書のファイリング作業が大幅に減ったことです。以前は約300枚の紙の請求書を原本として保管するため、全てひもでつづつてファイリングする作業が発生していました。現在はBill One上で保管できるため、紙の請求書を原本として扱うケースは50枚ほどになり、ずいぶん負担が減りました。

**若林様：**過去の請求書を参照する際は倉庫へ行ってファイルの束から該当する請求書を引っ張り出す必要がありましたが、今はBill One上で検索ができるので便利になりましたよね。

**梅田様：**課題だった紛失や処理もれのリスクもなくなりまし

た。他の社員からは、規定フォーマットに記入する工数がなくなったことを喜ぶ声も挙がっています。

**若林様：**Bill One導入によりペーパーレス化を実現したことは、受領から承認、保管までのワークフロー全体の効率化につながったと思います。「今日は1枚、次の日は2枚」というように、私の承認が必要な請求書がバラバラと机の上に提出されていましたが、そういったこともなくなり、承認作業が効率化されました。今後はよりBill Oneの機能が充実し、さらなる生産性の向上が見込めるようになることを期待しています。

# meiji

## 株式会社明治

業種 | 菓子、牛乳・乳製品、食品の製造販売など

従業員数 | 1万464名 (2022年3月31日時点)

設立 | 1917年      毎月の請求書処理枚数 | 約2万枚

**BillOne**  
powered by Sanson

全国に33拠点を置く株式会社明治では、年間約54万枚に及ぶ経理関連証憑類の完全ペーパーレス化を実現。その過程であぶり出された、紙の請求書のスキャン工数増加という課題を、Bill One 導入によって解決しました。

## 900時間分のスキャン工数が不要になり、請求書業務を効率化。会社全体の生産性向上に貢献



お話を伺った方 | デジタル推進本部情報システム部業務1Gグループ長 兼 アカウンティングイノベーションPT 河合利英様

### 導入の効果

紙の請求書をスキャンする  
ための想定時間

900時間 → 0に



担当者による個人管理から  
組織管理が可能に

受領する  
紙の請求書を

70%削減



## 導入前の課題

- 紙の請求書のスキャンに全社で月900時間の工数が必要だった
- 請求書のスキャンやアップロードが現場担当者の負担になっていた
- 請求書業務のフローが部署ごとに異なっていた

### “月に900時間の想定スキャン工数。 従来のワークフローを変えることなく、工数増加を回避できました”

明治では2020年7月にアカウントिंगイノベーションプロジェクトチームを立ち上げ、会社全体の生産性向上を目指して会計システムの刷新や経理関連証憑類の完全ペーパーレス化を行ってきました。当時、社内で扱う請求書約2万枚のうち1万5000枚が紙の請求書で、これを現場担当者がスキャンしてデータ化することでペーパーレス化を実現できたのですが、請求書のスキャン作業に「想定以上の工数がかかっている」という問題が発生しました。Bill Oneの導入前に東海工場で実証実験を行った結果を基にして推計した工数は、全社規模に置き換えたところ月900時間にも上りました。

また、2020年以降、請求書の発行にクラウドサービスを利

用する企業が増えたことで、請求書を受け取るために取引先ごとにIDとパスワードを管理する必要も生じ、請求書を受け取る側の企業としての負担が増加する恐れがありました。請求書を受け取るに当たって、これらの課題を解決することが急務であったことから、Bill Oneを導入しました。

現在は紙の請求書のうち約70%をBill One上で受け取っている状況で、スキャン工数も大幅に削減できています。Bill Oneは、アップロード、メール、郵送といったあらゆる送付方法に対応しているため、弊社はもちろん、請求書を発行する側の取引先企業にも負担をかけずに活用を始められることも決め手となりました。

### “特定の担当者に負担がかかる管理方法から、組織管理を実現。 適切な人員配置や業務の見直しに貢献しています”

Bill Oneを導入する以前は、紙、メールに関わらず、請求書を受け取る各現場担当で請求書を管理していました。しかし、2020年以降にテレワークが推奨されるようになったこともあり、担当者が入社しておらず請求書が確認できないケースや、逆にメールや郵便物の確認、請求書にはんこを押印するためだけに担当者が入社しなければならないといったことが起きていました。Bill Oneを導入した後は、グループ化機能を利用することによりメンバー間で請求書の情報やステータスを共有できるようになっています。

また、弊社では請求書を受け取ってから会計伝票を入力するまでの業務フローについては、各部署で設計することを任

せています。新しいサービスを導入するに当たって、各部署に根付いている従来のワークフローを大きく変更することは避けたいと考えていました。Bill Oneは承認サイン欄の設定に自由度もあり、コメントや稟議番号メモの付与など関連情報の付加も可能で、部署ごとに異なる業務フローを大きく変えることなく、スムーズに導入を進められました。

Bill Oneの活用を含め、経理業務全体の効率化を進めたことによって、ペーパーレス化や業務時間の大幅な削減が実現できました。今後、アカウントिंगイノベーションプロジェクトチームでは、より本質的な業務に集中できるような環境の構築や適切な人員配置に取り組んでいきたいと思えます。

請求書受領から、月次決算を加速する

# Bill One

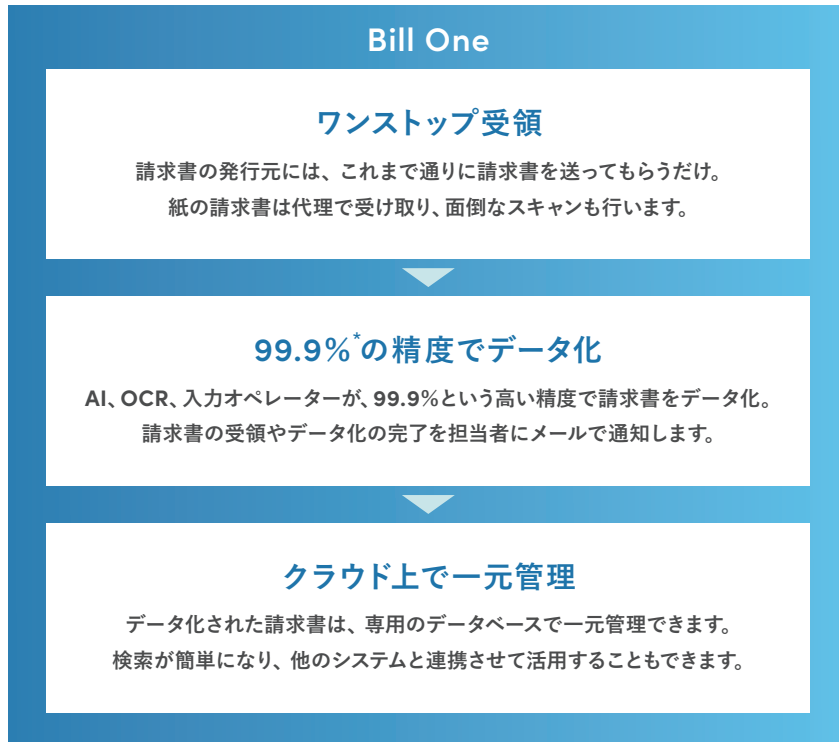
powered by Sansan

Bill Oneは、Sansan株式会社が提供するインボイス管理サービスです。

さまざまな形式・方法で届く請求書をオンラインで受け取り、

請求書業務を効率化することで、企業経営における意思決定のスピードを向上させます。

請求書を発行する企業

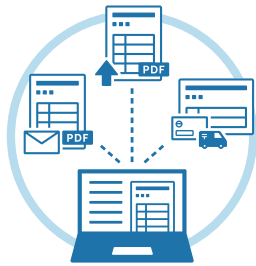


Bill Oneの契約企業



\* Sansan株式会社が規定する条件を満たした場合のデータ化精度

## 3つのメリット



あらゆる請求書を  
オンラインで受け取れる



法改正に対応した  
業務フローを構築できる



経理部門に限らず  
組織全体の生産性が上がる

**Bill One**  
powered by Sansan

お問い合わせ | デモ依頼やお見積りについては、お気軽にお問い合わせください

[bill-one@sansan.com](mailto:bill-one@sansan.com)

0800-100-9933

<https://bill-one.com>

Sansan株式会社 [本社] 〒150-6228 東京都渋谷区桜丘町1-1 渋谷サクラステージ28F